

京都市多文化施策審議会 2017（平成29）年度会議について

1 2017度（平成29年度）テーマ

「多文化共生の地域づくり」

外国籍市民が抱える地域課題を明確にし、その解決方法をさぐりながら、多様な国籍や文化的背景をもつすべての市民の地域協働について、議論を進める。

2 2017（平成29）年度の取組（案）

月	2017（平成29）年度
6	○第1回会議 ・「外国籍市民等と地域コミュニティ①」 ※事例報告等を踏まえて議論
9	○第2回会議 ・「外国籍市民等と地域コミュニティ②」 ※事例報告等を踏まえて議論
11	○第3回会議 ・「外国籍市民等と地域コミュニティ③」 ※事例報告等を踏まえて議論
1	○第4回会議 ・2017（平成29）年度提言の検討
3	○提言の提出

(1) 平成29年度第1回会議について

「外国籍市民等と地域コミュニティ①」

ア 性、年齢、国籍などの違いを持つ人々のそれぞれの価値観が尊重され、社会の中で共に生きる存在であることを相互に理解し合う場の創出や、様々な事情で就労の機会を得にくい人たちに働く場を提供している「バザールカフェ」の取組の報告を行う。

イ 子どもの貧困や孤食の問題の解決のみならず、地域住民の集いの場の提供という役割も担っている、「東九条こども食堂」の取組の報告を行う。

(2) 平成29年度第2回会議について

「外国籍市民等と地域コミュニティ②」

地域に暮らす外国人と日本人が共に理解し合うためには、互いの文化の理解が重要となる。伝統文化やスポーツを始めとした多文化についての理解を深める取組の事例報告を行う。

(3) 平成29年度第3回会議について

「外国籍市民等と地域コミュニティ③」

子どもから高齢者まで、外国籍市民等が安心して暮らすためには生活支援やコミュニケーション支援の取組が不可欠である。そうした支援に関する取組について事例報告を行う。

(4) 平成29年度第4回会議について

2017（平成29）年度提言の検討